

セグロアシナガバチ

体長は 21mm～26mm 程度で、日本のアシナガバチの仲間の中では大きい種です。キアシナガバチと似ていますが、背中が黒いことで見分けられます。

市街地の中でもよく見られ、4月中旬ころから軒下(のきした)や木の枝の下などに巣を作ります。

攻撃性はアシナガバチの中ではやや強く、巣を刺激したり、直接本種を持つなどしなければ、刺されることはありません。

富士市での現状

市街地も含め広い範囲で確認しました。



セグロアシナガバチを確認したメッシュ

